

## 沖澤と隠岐

## ふるさとへの前奏曲

## 一上一 出会い



青い海と  
森の  
音楽祭

「サイトウ・キンン・オーケストラ（SKO）は猛者ばかりの集まりだからね、若い女性の指揮者が来て、正直、どうなんだろうと思ったの。ところが最初から求心力がすごいかったし、みんなが彼女に魅了されていたの。こんなこと今までなかった」。世界的指揮者の故小澤征爾さんから

直々に指名を受け、同オケの首席客演指揮者に就任した沖澤のどか。2022年8月、SKOでコンサートマスターを務める矢部達哉は沖澤との初共演を終え、知人に興奮気味に語った。矢部は国内の楽団のリーダーとして名だたる指揮者と共演を重ねてきた。その矢部が、すっかり惚れ込んでしまった。

その半年前の22年1月。矢部は静岡県三島市で小さな音楽祭を開く。新型コロナから何とかクラシック界を救おうと、音楽家に呼びかけた催しに隠岐彩夏の姿もあった。当時、公演はどれも中止や延期に。2人の子どもはまだ小さ

く、このまま歌い続けていくのか」という不安を抱いていた。

「こんなに人を幸せにする声の持ち主はない。全力でサポートする。歌い続けて」。

ともに弘前市で弘前高校創立共演した矢部と国内を代表す

るピアニスト横山幸雄に熱烈な励ましを受け、隠岐の気持ちは晴れた。「私には歌しか

ない」。矢部の提案でトリオを結成。全国で公演を重ねた。

23年6月、隠岐は矢部らと

ともに弘前市で弘前高校創立

140年記念コンサートに出

演。故郷で初めてとなる大々

な舞台は何ものにも代えが

たかった。「こんなにも安心

感を持って言葉の世界を生き

う自然に囲まれた環境で音楽

をのびのびやってきたことが

ないに貴重だったか。ふるさ

とに恩返しがしたい」

沖澤と隠岐。本県が輩出

た2人の若き音楽家が出会い

てから、一つの決意を固め

る。「ふるさと青森で音楽祭

を始めよう。ふるさとに新しい音楽の風を吹かせよう」

（文中敬称略）



(写真左から)隠岐さん、矢部さん、沖澤さん。矢部さんを介して隠岐さんと沖澤さんが出会ったことで、今回の音楽祭が実現した=2024年8月、長野県松本市(隠岐さん提供)

「青森にもっともっと音楽を届けられたらいいなって思うの」

6月30日に開幕する第1回  
青い海と森の音楽祭まで3ヶ月。沖澤のどかと隠岐彩夏という本県出身の若き音楽家が音楽祭をどう立ち上げ、未来を見据えているのか伝えます。

※この連載は3回です。

「青森にもっともっと音楽を届けられた感動を沖澤に語った。

沖澤も、思いは同じだった。東京国際音楽コンクール／指揮／で1位になった翌年の2019年、ブザンソン国際若指揮者コンクールで優勝。